

田んぼまわりの生きものマップ作品展

環境保全型農業直接支援対策パネル展示

田んぼまわりの生きもの調査で実施している生きものマップづくりを通して、地域環境に対する住民の意識が高まるとともに、様々な環境保全活動に発展しています。

生きもの調査の取組をより一層充実させていくためには、地域住民はもとより、都市住民や学校、NPO など、多様な人々の参画を得ることが重要です。

そこで、生きもの調査による取組を広く紹介し、多くの県民の皆様の理解と参画を促進することを目的とし、「生きものマップ作品展」を開催しました。

また、環境保全型農業直接支援対策（旧農地・水・環境保全向上対策（営農活動支援交付金））では、新たな対策の紹介や、これまでの営農活動支援交付金の実績、取組事例をパネルにて展示しました。



★H22 鉢形環境保全会（小山市）

人気投票の結果

（作品展は4会場で開催し、一般市民等による人気投票を行いました。）

人気投票NO.1



お楽の里下高島（栃木市大平）

投票結果を見ると、色づかいとレイアウトの工夫がナンバー1を勝ち取ったポイントのようです。一般市民からは、とてもわかりやすく、地図や感想などが良くまとめられており、魚を中心としたレイアウトがとても良いと評価されました。

人気投票NO.2



ほたるの里（小山市）

一般市民からは、川の近くや川の中に棲んでいる生きものがわかりやすく描かれており、生きもの調査結果がきれいにまとめられていると評価されました。また、子供達を中心でつくられた点も、ナンバー2を勝ち取ったポイントのようです。

人気投票NO.3



板荷畑いつくし美会（鹿沼市）

一般市民からは、地域の様子が分かりやすく、とても絵が上手いと評価されました。たくさんの生きものの絵や、子供達の言葉がとても楽しそうで良い。楽しい生きもの調査が想像できるという点も、ナンバー3を勝ち取ったポイントのようです。

